



日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の廃酸流出事故について

日本製鉄（株）瀬戸内製鉄所呉地区から廃酸（※）が海域に流出した事案及び呉市の対応状況についてお知らせします。

※廃酸……鉄製品の表面を滑らかにするために希塩酸で洗浄した後の塩酸

1 事故の概要

- （1）発生日時
令和3年8月2日5時30分頃
- （2）流出事故の原因
廃酸回収タンクの底部の亀裂
- （3）推定流出量
約19トン

2 これまでの呉市の対応状況

日本製鉄（株）から事故の報告を受け、直ちに呉市環境試験センター職員が立入調査を行い、次の事項を確認しました。

- （1）流出に係る応急措置の状況
土嚢等の設置や設備停止による海域流出の防止措置を講じていること
- （2）排水基準の適合状況
水質汚濁防止法等で定められた排出基準（許容限度：pH6.0～9.0）を満たしていること（立入当初、排水口からの排出水のpHが約3.5であったが、約1時間経過後pH7.5に改善）
- （3）周辺海域の水質の状況
排水口から10メートル沖の海水のpHが、上記排出基準の範囲内となっていること（pH7前後）

3 今後の呉市の対応

今後、日本製鉄（株）から、同社が実施する原因究明調査の結果を踏まえた再発防止のための改善措置について報告を受ける予定です。

同社により適切な改善措置が実施された後、当該改善措置の状況を確認するための立入調査を実施する予定です。